

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊦ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
各種災害から住民の生命、身体、財産を保護し住民と一体となって地域の消防防災力を強化していく。	1. 消防団員の加入促進	・災害現場活動を安全かつ効果的に行えるよう人員の確保を図る。 ・地域に密着した活動が行え、安全・安心を提供できるよう人員の確保を図る。	・広報紙、市ホームページ及び地域の催事を捉え広く加入を呼びかける。 ・各地区の防火指導を消防団員自らがを行い責務を訴え加入促進を図る。	8	・飯岡区、三野区、薪区、新興戸区、打田区と消防団が連携し、地区住民に消火器、消火栓の取扱いを指導するとともに消防フェアーでは消防団員と消防職員が協力し、来場者に初期消火訓練を指導するとともに、消防団入団促進活動を行った。 しかし、退団者が入団者を上回ったため増員にはつながらなかった。	C	・今後においても防火指導で地区住民に消火器、消火栓の取扱いの指導を積極的に行い地域防災力の向上を目指すとともに、行事をとらえ、入団促進活動を実施する。 また増員が見込めない地区においては消防団組織の改変により消防力を向上する必要があるため消防団本部役員等と協議する。
	2. 災害対応力の充実強化	・消防団積載車及び小型動力ポンプを更新し、消防団の強化を図る。	・消防団積載車・小型ポンプ更新計画に基づき更新する。 大住ヶ丘・南山東	7	消防団小型動力ポンプ付積載車更新計画どおり機動力があり消火効果が高い車両が導入でき消防力の向上につながった。	A	近隣他市の状況、動向を調査研究し、機能的で効果のある消防団積載車、小型ポンプを更新計画に基づき導入する。
		・地震等で消火栓が寸断された場合でも消火活動が円滑、効率よく実施できるよう耐震性貯水槽設置する。 ・震災時等における消防力の強化を図る。	・耐震性貯水槽整備計画に基づき設置する。 ・耐震性貯水槽60㎡1基、40㎡1基 ・耐震性貯水槽設置予定場所の測量設計1箇所		6	多々羅公民館、大住ヶ丘第2公園にそれぞれ耐震性貯水槽40㎡1基を設置した。 打田地区に設置予定の耐震性貯水槽60㎡1基の測量設計を行なった。	A

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊿ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	<ul style="list-style-type: none"> •北部分署に配置している消防ポンプ自動車を更新し、常備消防力の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> •消防車両等更新整備計画に基づき更新する。 	7	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ自動車を更新するとともに消防隊員研修を実施し消防力の強化を図った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防力の強化を図るため消防車両等更新計画に基づき実施する。
		<ul style="list-style-type: none"> •精鋭な部隊の育成と強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> •消防救急活動に必要な教育講習等を受講し知識、技術の習得を図り人材育成し組織強化を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 消防救急活動に関する資格取得及び知識、技術向上のための研修等30種に89名が受講し、人材育成及び組織強化を図った。 		A
	3. 職員の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> •親切、丁寧を心がけ市民に信頼される消防行政の推進を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> •職員1人1人が服務規律を遵守して意識改革に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> •職員一人ひとりが服務規律を遵守して意識改革に努めた。しかし、私的な不祥事があり、市民の信頼を損ねたことは反省しなければならない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民等には、親切丁寧を心がけ服務規律を遵守し更に意識改革を進める。 	
	4. 火災予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> •住宅火災からの死傷者を未然に防止し、被害の拡大を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> •住宅火災警報器の設置促進及び出火防止の啓発活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> •市広報誌に10回掲載とホームページに常時掲載し、啓発に努めた。 •秋の火災予防運動時に「聖愛幼稚園」「松井ヶ丘保育園」と「京田辺市危険物安全協会」と合同で街頭啓発活動を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も継続して広報と各種予防運動を実施する。 	

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】

平成30年度
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定					今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	㊿ 施政方針	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段		目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
		・防火対象物・危険物施設における火災予防を推進する。	・防火対象物における防火管理対策、危険物施設における安全対策の整備に関する指導及び消防関係法令の違反是正指導を推進する。		・10件の重大消防法令違反が是正された。 ・査察実施計画対象物(防火対象物と危険物施設) 831件のうち、645件の査察を実施し、適切な指導を行った。	B	・未実施となった計画対象物は、次年度の実施計画で優先実施対象物とし、適切な指導を行う。
		・事業所における自衛消防隊を育成、指導する。	・日常的な防火管理と災害時における活動要領等の指導を推進する。		・管内の事業所に対して、消火器の取り扱い説明を93回1, 691名、避難訓練を110回12, 567名に実施した。 ・幼稚園・保育所に対して、防火指導を18回2, 367名に実施した。	A	今後も継続して実施する。
	5. 災害に強い市民づくり	・救急講習会等を積極的に行う。	・AEDの取り扱いを含む上級・普通救命講習や小学生を対象とした救命入門コースを実施する。		市民や各種団体、事業所等を対象に上級救命講習会を11回28名、普通救命講習会を80回1, 047名、救急指導を41回1, 389名に実施した。 また、市内6小学校を対象に、児童465名に救命入門コースを開催した。	A	今後も市民、各種団体、事業所等に勧誘等を行い、講習を継続して実施する。

※【目標の達成度の区分:A.達成できた、B.概ね達成できた、C.達成できなかった】